歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シート

口進捗評価シート(様式1)

- ①組織体制(様式1-1)
- ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)
- ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)
- ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)
- ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)
- ⑥その他(様式1-6)

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

- ①計画に記載している方針(様式2-1)
- ②その他の項目(任意設定)(様式2-2)

口総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

- ①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)
- ②その他(任意)(様式3-2)

口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)

進捗評価シート (様式1-1)

評価軸① 組織体制		
	評価対象年度	23年度
項目	現在の状況	
庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催	□実施済み(計画の全て) ■実施済み(計画の一部) □検討中 □今後、検討予定	
ウ州的。中央的河东(白山河)北) 。	v 中 目 4 至 1	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ●庁内会議(総務課、産業建設課、教育委員会事務局)の開催。6回事業の進捗管理、事業実施に係るより具体的な計画の策定協議など。
- ●佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催。 計画の軽微な変更。事業の進捗管理・評価。事業実施に係るより具体的な計画策定。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない

庁内の連携を強化し、協議会での評価・意見を実施する体制を整えることが必要。

状況を示す写真や資料等



庁内会議

(総務課、産業建設課、教育委員会)

平成23年 6月30日 平成23年 7月28日 平成23年 8月11日 平成23年10月27日 平成23年12月15日 平成24年 1月30日



佐川町歴史的風致維持向上計画協議会

第1回 平成23年 8月 5日 第2回 平成23年12月21日 第3回 平成24年 2月 3日 第4回 平成24年 3月 14日

※協議会委員名簿別紙

評価軸③ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 | 評価対象年度 | 23年度 | 23年度 | 3年の状況 | 3年度 | 3年度 | 3年度 | 3年度 | 3年度の状況 | 3年度事業 佐川町歴史的風致維持向上協議会で良好な街なみ形成方 | 3年度事業 佐川町歴史的風致維持向上協議会で良好な街なみ形成方 | 3年度済み(計画の一部) | 3年度済み(計画の年度) | 3年度存在の状況(対面を) | 3年度存在の対面を) | 3年度存在の状況(対面を) | 3年度存在の対面を) |

定性的評価(自由記述)

良好な街なみ形成方策等に係る各施設の役割を検討。

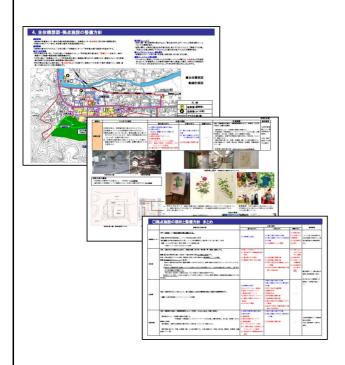
整備済みの佐川文庫庫舎の活用方法、今後整備予定の浜口邸、牧野生家、牧野公園等の具体的な活用方法を歴史的風致維持向上計画に沿って策定。

	定量的評価	
整備計画の策定/協議会の開催		1件/ 4回
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題(自由記述)
		に実施することが必要。ハード面のみでなく、施設活用のソフト 的に関わることが重要となる。

状況を示す写真や資料等



計画案説明



重点区域整備構想資料

進捗評価シート (様式1-3)

肝伽和③ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 評価対象年度 23年度 項目 現在の状況 口実施済み(計画の全て) ■実施済み(計画の一部) 牧野公園整備事業 □検討中 □今後、検討予定 定性的評価(自由記述) 遊歩道の整備として、危険箇所への防護柵を設置。(3月15日完成) 定量的評価 防護柵延長 105m 進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題(自由記述) ■計画どおり進捗している 来町者が公園を散策する憩いの場としての施設の高質化を実施している。学習の場と 口計画どおり進捗していない しての機能を増すためには、公園を活用したソフトの充実が必要である。

状況を示す写真や資料等



進捗評価シート 評価軸⑤				(様式1−5)
評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道				
効未・影音寺に関する報道			評価対象年度	23年度
報道等タイト		日時	掲載紙等	20千及
「古い建物おしゃれ」"歴ドル"と佐川町 切り絵浮かぶ幻想空間		48470	高知新聞	
定性的	・定量的評価(自由記述) ※	定量的評価は可	『能な範囲で	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施に	こあたっての課	題(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし				
	状況を示す写真や	資料等		
別紙				

佐川町歴史的風致維持向上計画協議会 委員名簿

	氏名	役職等
竹村	脩	重文指定建造物所有者
平岡	護	佐川くろがねの会
永田	耕朗	商工会
大原	淑道	企画本舗さかわ屋
溝渕	博彦	高知県教育委員会文化財課 課長補佐
岩本	敏彦	教育委員会事務局 次長補佐(文化財担当)
渡辺	公平	産業建設課 課長(観光担当)
北川	通雄	文化財保護審議会
山下	伊佐夫	株式会社 司牡丹酒造
岡村	統正	町議会議員
藤原	健祐	町議会議員
松浦	隆起	町議会議員
刈谷	嘉秀	地域支援企画員(佐川駐在)オブザーバー
大谷	英人	高知工科大学教授(NPO代表)オブザーバー
筒井	紀裕	高知県都市計画課 オブザーバー
味元	泰憲	総務課長事務局
岡林	護	総務課長補佐事務局
田村	秀明	総務課企画財政係長事務局
上田	くみ	総務課企画財政係 事務局
広田	春秋	総務課企画財政係 事務局

平成23年度~

佐川町歴史的風致維持向上計画協議会 委員名簿

	氏名	役職等	
大原	淑道	企画本舗さかわ屋 会長	
吉野	毅	NPO法人佐川くろがねの名	<u> </u>
永田	耕朗	商工会会長	
竹村	脩	国指定重要文化財建造物所有	者
松田	直則	高知県教育委員会文化財課	
西森	勝仁	副町長	
川井	正一	教育長	
北川	通雄	文化財保護審議会会長	
山下	伊佐夫	株式会社 司牡丹酒造常務	
岡村	統正	町議会議員	
藤原	健祐	町議会議員	
松浦	隆起	町議会議員	
刈谷	嘉秀	高知県地域支援企画員(佐川	駐在) オブザーバー
岡林	頀	総務課長	事務局長
渡辺	公平	産業建設課長	事務局
岩本	敏彦	教育委員会事務局次長	事務局
真辺	美紀	総務課長補佐	事務局
堀見	衛	産業建設課長補佐	事務局
吉野	広昭	教育委員会事務局次長補佐	事務局
和田	剛	総務課 企画観光係長	事務局
岩佐	誠志	産業建設課農林商工係長	事務局

進捗評価シート 評価軸②			(様式1−2
評価報色 重点区域における良好な景観を刑	が成する施策		
	項目	評価対象年度 現在の ¹	
佐川町街なみ景観条例に基づく指	i ii	□実施済み(計画の全 □実施済み(計画の一; ■検討中 □今後、検討予定	て)
定性的・定量	量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
現行の街なみ景観条例は、当町が	「街なみ環境整備事業(平成5年から10年間)を てない点も多々あることから、歴史まちづくり法に	実施した当時制定し	図面の添付 の有無 ※都市計画関連の 変更がある場合のあ
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての)課題(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	この条例は街なみ環境整備事業の推進に対応 成建造物の修理等に対応できる内容に改正が		5、歷史的風致形
	状況を示す写真や資料等		

進捗評価シート			(様式1−2)
評価軸② 重点区域における良好な景観を	形成する施策		
	項目	<u>評価対象年度</u> 現在の状況	23年度
土地利用に関する今後の措置		□実施済み(計画の全て) □実施済み(計画の一部) ■検討中 □今後、検討予定	
定性的・定	量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	5	図表の活み
	ばであるが、重点区域のまちなみを維持向上するの見直しをおこない、土地利用構想を詳細にした 対する。	るために、本計画期間 バーニングの特度を <i>※</i> 都	図面の添付 の有無 <i>の有無 郷市計画関連の</i> がある場合のみ
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての	D課題(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	重点区域の土地利用の更なるゾーニングが可能	かの検討が必要である。	
	状況を示す写真や資料等		

進捗評価シート 評価軸④ 文化財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 現在の状況 23年度 項目 口実施済み(計画の全て) 文化財の修理について 文化財の保存・活用を行うための施設について 文化財の周辺環境の保全について ■実施済み(計画の一部) 口検討中

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 佐川文庫庫舎については、平成21年度に移築復原工事が完了した。浜口邸については昨年度購入し、用途(体験宿泊施設)を踏まえ、現在、牧野富太郎生家再生事業などともに、修理や工事内容の詳細について検討中である。また、年度内に緊急な修理の必要

が生じた文化財はなかった。
NPO法人佐川くろがねの会においては、イベント開催だけでなく、観光ガイドや、町内の歴史的建造物の模型展示を常設するなど、精力的に活動を続けている。

進捗状況 <i>※計画年次との対応</i> 実施・検討にあたっての課題(自由記述)	
CIS PARE WALL FROM STATE OF MARKET AND THE PARENCE OF THE PARENCE	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない □計画どおり進捗していない □計画とおり進捗していない □計画とおり進捗していない □計画とおり進捗していない □計画とおり進捗していない □計画とおり進捗していない □ によう、住民生活を損なわない程度の規制についても検討していきたい。	
状況を示す写真や資料等	







口今後、検討予定

▲浜口邸内部。やや損傷も目立つ。

進捗評価シート (様式1-4)

進捗評価シート 評価軸④ 文化財の保存又は活用に関する事項

現在の状況

□実施済み(計画の全て) ■実施済み(計画の一部)

□美胞海の間回□検討中

□今後、検討予定

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域に移築復原された佐川文庫庫舎では、ミニコンサートをはじめ、NPOを中心に多彩な催しが行われ、今年度、町やNPO以外で初めて住民主催で行事(住民サークルの絵画展、2団体、各1回)が実施された。

春季 ひなまつり(500人)、夏季 佐川酒蔵ロード劇場「光の影絵展」(1,000人)、おばけの話会(30人)、和本づくり教室(20人)、秋季 洋画サークル展(2週間、のべ200人)、水彩画サークル展(2週間、のべ150人)、冬季 津軽三味線コンサート(70人)、通年 NPO法人による観光ガイド(1,000人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない NPO法人との協働は、順調に進んでいるが、まだまだ脆弱な体制ため、他と連携して参加者が回遊するまでに至ってない。今後については、他部局との連携をさらに図っていくことが課題である。

状況を示す写真や資料等



NPO主催のひな祭りイベントに併せて、町立博物館青山文庫でも江戸時代のひな人形の展示が行われた。

項目

文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について



NPOが昨年より行っている「光の 影絵展」。今年で4回目を数え、 回を重ねるごとに観客も増え、 1,000人を超す集客があった。





昨年のこども歴史教室に続き、 夏休みに小学生を対象とした催 し(和本づくり教室)を開催し、来 町中であった姉妹都市、北海道 北見市の子ども達も参加した。 また、お化け話会も去年に引き 続き開催された。



年間を通じて観光ガイドも行われ、特に花見の時期には 重点区域内も賑わいが見られた。



進捗評価シート 評価軸④ 文化財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 現在の状況 23年度 項目 口実施済み(計画の全て) ■実施済み(計画の一部) 文化財の保存及び活用の普及・啓発について □検討中 □今後、検討予定

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

黒岩小学校では「太刀踊り子ども教室」を開催し、高知県の無形文化財である「佐川の太刀踊り」の継承に取り組んでいる。

■参加人数・・・・小学生13名、中学生2名 地域の行事のあらゆる場面で、子ども達に踊りを披露する機会を設け、地域全体の伝統芸能と位置づけをしている。 ■子ども達による太刀踊り披露回数・・・5回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	口伝のため、過去の歌詞と現在歌われている歌詞とに、かなりの違いが見られる。今 後は正確に伝わるよう、資料の作成を検討する。
	1) 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

状況を示す写真や資料等



毎年11/3に行われる踊りの奉納にも子ども達が 招かれ、踊りを披露した。



子ども達への踊りの指導は、保存会の励みもなっている。

進捗評価シート 評価軸④ 文化財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 現在の状況 23年度 項目 口実施済み(計画の全て) ■実施済み(計画の一部) 文化財の防災について 口検討中 □今後、検討予定

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内には自主防災組織が設立されており、地域の意識も高く、住民、消防署、消防団とともに年1回の訓練が実施 されている。

また、文化財防火デーや文化財パトロールなど、あらゆる機会を通じて、所有者だけでなく、文化財の保存や防災の大切 さについて周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	南海地震の発生が予測されていることもあって、所有者や、関係者には防災について 一定理解が高まっている。今後は、建造物の耐震性を高めていくことが検討課題となっ ている。

状況を示す写真や資料等



文化財防火デーや防災教室など、可能な限り対象世代 を問わず啓発を行っている。

進捗評価シート 評価軸④ 文化財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 現在の状況 23年度 項目 口実施済み(計画の全て) ■実施済み(計画の一部) 埋蔵文化財の取扱いについて □検討中 □今後、検討予定

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内唯一の埋蔵文化財、佐川城址については、年1回文化財審議会委員(巡視員)とともにパトロールを実施して

当該年度も実施済みで、写真、目視等により保存状態に変化がないことを確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等





▲雑木を刈り払い明るくなった他は数年来保存状態に変化はなく、石積みにも異常はみられない。

評価対象年度	21 年度~ 23 年度
計画に記載している方針	住民参加による歴史的風致の維持向上 〇 建造物・施設管理・活用を住民グループ・NPO等に委託 〇 住民と行政の協働により桜再生の具体的な取組を進める 〇 民俗芸能の後継者育成のため、芸能関係者、地域住民、行政が 連携を深め、加入促進の手だてを更に進めていく
計画に記載している課題	 ○ 町民有志やボランティアにより、老朽木や雑木の伐採、桜の苗木の植樹等が行われているが、まだまだ十分とはいえる状況にない。 ○ 当町においては、特に農村部は高齢化及び過疎化の進行が著しい。地域の若者人口の減少は、地縁団体の活動の弱体化を招く。このことは、その地縁団体に活動の根をおく民俗芸能の後継者不足に繋がってくる。
方針の達成状況・課題の改善 状況に関する評価内容(可能な 限り定量的な評価を交えて自由 記述)	 ○ 佐川文庫庫舎(便益施設含む)の管理・清掃をNPO法人佐川くろがねの会に委託。同施設での行事開催(コンサート、学習会、講演会等)を積極的に進めている。■住民主催による同施設活用行事数…8回(H23) ○ 桜再生のため住民とともに改植を進めている。NPO法人とかの元気村に管理を委託し、桜のチェック、肥料やり、雑木伐採等を実施。 ■牧野公園清掃管理等実施回数…24回 ○ 民俗芸能後継者育成のため、地域の学校で子ども教室を開催し、子どもによる芸能継承を進めている。また、高齢化及び過疎化の進行に歯止めがかからないことから、一部地域での芸能継承を地域全体の芸能として、その後継者育成につとめている。■子どもによる芸能披露…6回(H23)
対応する進捗評価項目とその推移	④文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について「そこにある」文化財から「触れて、感じられる」文化財にするために、積極的な活用を進め一部のいわゆる好事家のみでなく、より広汎に町民等に文化財に対する認識と興味を高める活動を実施している。 【文化財を活用した行事例】 酒蔵ロード劇場(文化財の白壁に幻灯を映し出す 入場者2800名/3年)ガイド付き街並み歩き(参加者 2550 名/3年)ひな祭り(文化財施設に古いひな人形を飾る 入場者数710名/H23除く)模型展示(文化財施設の1/10模型を作成展示 入場者数2700名/3年)
達成状況の評価、要改善事項	■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない (要改善事項)
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要 ■計画の見直しが不要

評価対象年度		21 年度~	23	年度
計画に記載している方針	文化資源の包括的な活用による歴史的風致の総		20	一一人又
	○ 佐川の風致に位置づけた各要素を包括的じとし、連携を図る。○ 青山文庫を改修し集客力を高めるとともに、た展示を実施する。○ 佐川文庫庫舎を元あった場所に移設する。○ 街並みを歩くことで、貴重な資料に触れ、歴ならず現在の人を知ってもらう流れを作り出す	こ利用するため青 佐川の歴史・人(生的建造物を見	に焦点を、歴史上	当て
計画に記載している課題	○ 歴史的建造物、伝統芸能、歴史的人物とい用が、それぞれ単体としてはあっても相互に過少ない現状○ 佐川文庫庫舎が中心市街地から離れた総にあり、訪れる人もほとんど無く、周囲との違なっている。	連携して行われる 合文化センター敷	ことが	
方針の達成状況・課題の改善 状況に関する評価内容(可能な 限り定量的な評価を交えて自由 記述)	○ 佐川文庫庫舎を上町地区に移築 ○ 青山文庫を核施設として捉え、街並み観光財の講習会、青山文庫設置場所が生誕地でを実施し、単なる博物館の役割を越えた風致活用。■青山文庫に於いて実施した事業(展活用。■青山文庫に於いて実施した事業(展活用。」「大田のでは、水田のでは、水田のでは、水田のでは、水田のでは、水田のでは、水田のでは、水田のでは、水田のでは、大田のは、大田のは、大田のは、大田のは、大田のは、大田のは、大田のは、大田の	ある土方寧の顕章 維持向上施設とし 示を除く)···2件(ド レ改修、登りロと を図った。 を写富太郎・ 大学創歴史山文 車舎(歴山)風 で を作り、NPOによ	がと H23) 招示 形の	
対応する進捗評価項目とその推移	③佐川文庫庫舎(旧青山文庫)移築・活用化事業 佐川文庫庫舎を上町地区に移築、耐震補強を ④文化財の修理について ④文化財の保存・活用に関わっている住民、NPC 竹村家の国重文指定、上町地区の歴史的風致 区域指定、町民に忘れられていた存在であったになどにより、町民に文化財や歴史的建造物の価値 などにより、町民に文化財や歴史的建造物の価値 ことができつつある。また、上町地区に焦点を絞り まったことにより、点から面の展開ができつつある。	実施。)等各種団体につ維持向上計画重生川文庫庫舎の移 直を改めて認識さり、コンパクトにま	点 8築 せる	
達成状況の評価、要改善事項	■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない (要改善事項)			
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要 ■計画の見直しが不要			

評価対象年度	21 年度~ 23 年度
計画に記載している方針	教育・産業等との連携による歴史的風致の維持向上 〇 次世代へ貴重な文化財を伝えるための学校教育・生涯学習の 推進。 〇 歴史的風土によって培われた食物や工芸品、芸能等を産業資 源として活用することで付加価値化を図る。
計画に記載している課題	○ 当町においては、特に農村部は高齢化及び過疎化の進行が著しい。 地域の若者人口の減少は、地縁団体の活動の弱体化を招く。このこ とは、その地縁団体に活動の根をおく民俗芸能の後継者不足に繋がっ てくる。
方針の達成状況・課題の改善 状況に関する評価内容(可能な 限り定量的な評価を交えて自由 記述)	 □ 黒岩小学校では、「太刀踊り子ども教室」を開催し、四ッ白太刀踊りのの継承に取り組んでいる。 ■参加人数…小学生13名・中学生2名 ○ 地域行事のあらゆる場面で、子ども達に踊りを披露する機会を設け、地域全体の伝統芸能と位置づけをしている。 ■子どもによる太刀踊り披露回数…5回 ○ 伝統的な食物である山椒餅の生産販売、旧領主深尾家ゆかりの料理再現、酒蔵見学等を実施しているが、付加価値化までには至っていない。
対応する進捗評価項目とその推移	④文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について ④文化財の保存及び活用の普及・啓発について NPO主催による歴史教室の開催、子どもを対象にした歴史教室など 学校・生涯教育と連携した活動が行われている。
達成状況の評価、要改善事項	□想定通り効果が発現している ■今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない (要改善事項)
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要 ■計画の見直しが不要

評価対象年度	21 年度~ 23 年度
計画に記載している方針	さらなる歴史的・文化的資源の発掘による歴史的風致の維持向上 文化財の調査と把握を継続して実施し、活用方法や有効な保存方法を検討する。住民参加のもと、教育委員会、文化財保護審議会、まちづくり行政の緊密な連携を構築し、新たな発見、再評価による付加価値化。
計画に記載している課題	○ 佐川町にはまだ見出されていない文化資源が眠っている。○ 現状では、文化資源の掘り起こしに対する認識が必ずしも高いとはいえず、また、その体制も整っていない。
方針の達成状況・課題の改善 状況に関する評価内容(可能な 限り定量的な評価を交えて自由 記述)	 教育委員会・文化財保護審議会による定期的な文化財の調査(年1回)と情報交換会(年4回)を実施している。 住民グループによる文化財保存・活用、顕彰・啓発事業の実施と行政(まちづくり担当課・教育委員会)による人的、財政的補助を実施している。 ■文化財活用事業への補助件数…4件 文化財の再評価は行われているが、新たな活用事例は発生していない。 教育委員会、文化財保護審議会、まちづくり行政の緊密な連携を構築した。
対応する進捗評価項目とその推移	①庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催 教育委員会、文化財保護審議会、まちづくり行政の緊密な連携 を図るべく、庁内会議を開催している。 ④文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について 住民及びNPO等の団体と行政との連携は十分であるが、 付加価値化に欠かせない啓発等はイベントに偏りすぎた。
達成状況の評価、要改善事項	□想定通り効果が発現している □今後発現が予想される ■要対策検討 □現段階では判断できない (要改善事項) ガイドから説明を受けるだけの「まち歩き」だけではなく、重点区域の古地図と現在の地図を比較しながら歩く発見ツアーなど、参加者に掘り起こしを促す催しや学習会を実施する。
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要 ■計画の見直しが不要

評価対象年度	21 年度~ 23 年度
計画に記載している方針	21 年度~ 23 年度 制度面の整備による歴史的風致の維持向上
計画に記載している力 町	○ 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律の趣旨に則した新たな条例の制定または、既存条例の改正を行う。○ 土地利用計画にて大まかに市街地整備地区となっている重点区域をより細かくゾーニングし、より具体的に明示する。
計画に記載している課題	○ 建造物の新設、増改築、修景等は街並み景観条例により 一定の規制が可能だが、時代に即応していない面もあり 制度面の整備も必要である。
方針の達成状況・課題の改善 状況に関する評価内容(可能な 限り定量的な評価を交えて自由 記述)	○ 重点区域のより細かなゾーニングを検討しているが、当該地は現在も営業中の酒蔵を中心として街並みを形成しているため、商業行為と文化財保護を両立させたゾーニングに課題がある。
対応する進捗評価項目とその推移	②佐川町街なみ景観条例に基づく措置 ②急傾斜地法に基づく措置 ②土地利用に関する今後の措置 佐川町街なみ景観条例改正の検討を行っているが、改正には至っていない。 重点区域内の西谷、上町、東町の一部が、急傾斜地法3条の急傾斜地崩壊危 険区域に指定され行為については制限があるが、該当はなかった。 より詳細な土地利用計画の策定には至っていない。
達成状況の評価、要改善事項	□想定通り効果が発現している ■今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない (要改善事項)
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要 ■計画の見直しが不要

評価対象年度	年度~	年度
その他の項目(波及効果等;任 意設定)		
関連する課題		
項目の達成状況・課題の改善 状況に関する評価内容(可能な 限り定量的な評価を交えて自 由記述)		
対応する進捗評価項目とその 推移		
進捗状況の評価、要改善事項	□想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない (要改善事項)	
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要□計画の見直しが不要	

評価対象年度		度~ 年度
その他の項目(波及効果等;任 意設定)	+/	<u>文</u> 一十汉
関連する課題		
項目の達成状況・課題の改善 状況に関する評価内容(可能な 限り定量的な評価を交えて自 由記述)		
対応する進捗評価項目とその		
推移		
進捗状況の評価、要改善事項	□想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない (要改善事項)	
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要 □計画の見直しが不要	

評価対象年度		年度~	年度
その他の項目(波及効果等;任 意設定)			
関連する課題			
項目の達成状況・課題の改善 状況に関する評価内容(可能な			
限り定量的な評価を交えて自 由記述)			
対応する進捗評価項目とその			
推移			
進捗状況の評価、要改善事項	□想定通り効果が発現している □今後発現が予想される		
	□要対策検討 □現段階では判断できない		
	(要改善事項)		
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要		
	□計画の見直しが不要		

評価対象年度		年度~	年度
その他の項目(波及効果等;任 意設定)			
関連する課題			
対定)の外位			
項目の達成状況・課題の改善			
状況に関する評価内容(可能な 限り定量的な評価を交えて自			
由記述)			
対応する進捗評価項目とその 推移			
1年19			
W. I II			
進捗状況の評価、要改善事項	□想定通り効果が発現している □今後発現が予想される		
	□要対策検討 □現段階では判断できない		
	(要改善事項)		
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要 □計画の見直しが不要		
	口川 四の元位しが、小女		

評価対象年度		年度~	年度
その他の項目(波及効果等;任 意設定)		1 /2	1 🗻
関連する課題			
項目の達成状況・課題の改善			
状況に関する評価内容(可能な 限り定量的な評価を交えて自			
由記述)			
ᆚᅷᅷᄀᄽᆘᅑᄺᄑᄆᆝᅺᇰ			
対応する進捗評価項目とその 推移			
進捗状況の評価、要改善事項	□想定通り効果が発現している □今後発現が予想される		
	□要対策検討 □現段階では判断できない		
	(要改善事項)		
計画見直しの必要性	□計画の見直しが必要 □計画の見直しが不要		

(様式3-1)

評価対象年度

平成 21 年度~ 23 年度

歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み(1):佐川文庫庫舎(旧青山文庫)移築・活用化事業

(取り組み概要)

佐川文庫庫舎は、明治19年に須崎警察署佐川分署として、重点区域である上町に新築された高 知県最古の木造洋館であり、その後、青山文庫、佐川文庫の閲覧室や民具館として移転、用途変更 を繰り返してきた。

平成21年重点区域内に移築・復原され、現在は、国の重要文化財である竹村家住宅とともに本町の歴史的風致の維持向上施設の中核となる建造物の一つとなっている。

(自己評価)

施設については、重点区域内で活動するNPO法人佐川くろがねの会と連携をしながら利活用を図っている。

当該年度については、佐川酒蔵ロード劇場、光の影絵展や、小学生を対象に青山文庫所蔵の古地図ももとにして、地域内を散策する歴史教室等を開催することによって、地域のもつ新たな魅力を伝えることができた。

(外部評価)

- 外部有識者名(役職・肩書き等):北川 通雄(佐川町文化財保護審議会会長)
- •外部評価実施日:平成23年12月21日
- 有識者コメント

本町の重点区域において、国の重要文化財である竹村家住宅とともに地域の象徴であり、名勝地の青源寺、本町唯一の博物館である青山文庫などと併せて一層の活用をはかられたい。

今後においては、この地区で生まれ育った牧野富太郎博士をはじめ、西谷退三、土井八枝、楠木 繁夫など、この地域が輩出した多くの偉人を紹介できる展示なども検討されたい。

(今後の対応方針)

当該建造物は、住民からギャラリーやミニコンサートなど、多様な使用したい要望も多く、建物の保存を第一としながら、重点区域内の中核となる施設として今後も利活用を図っていく。

また、敷地内に建物の変遷や歴史的な背景について表示がないため、景観に十分配慮したうえで、適切な表示板を設置したい。





▲散策は古地図(佐川郭内図)を参照しながら今も当時の面影が残る町並みと対比しながら行った。

▲小学生を対象に移転復原が完了した佐川文庫庫舎を起点に、散策しながら、重点地区の歴史等、郷土について学ぶ「こども歴史教室」を開催した。



▲外壁に幻灯により影絵を映し出す「光の影絵展」。回を重ねるごとに観客も増え、1,000人を超える人が詰めかけるようになった。

評価対象年度 23年度

法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:佐川町歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時: 平成23年8月5日、平成23年12月21日

(コメントの概要)

歴史的風致維持向上計画に則し、着実に事業を実施しなければならない。

整備する(した)個別施設の運営・管理について、活用を考慮し住民グループ等との協働による取組を進めるべきである。

風致計画に沿った整備の他に、地区全体が歴史的風致を醸し出すための整備計画を策定し、観光の周遊性を高めることが必要である。

牧野生誕150年事業に協議会も積極的に関与し、文化歴史の重要性を啓発するべきである。

(今後の対応方針)

計画の着実な推進が図れるよう組織体制を整える方針。

施設の指定管理も考慮し、住民グループ等との協働を進める。

風致計画に付随した町独自の計画を策定し、風致向上に繋げる。

協議会活動の一つとして牧野生誕150年事業のいくつかを主催(共催)する。